

たかひこ通信

皆さんのご意見・ご要望を電話・FaX・メールでお寄せ下さい。



部内資料 たかひこ通信 No. 74
2017/6/27 〒399-8601 長野県北安曇郡池田町大字池田3089-4
薄井孝彦 Tel・Fax 0261-62-5093
mail: peacea@peach.plala.or.jp
http://web-ariakesan.com/

◎ 一般会計補正予算の 目玉

○農地耕作条件改善事業 1億2,530万円

- ・ 県の補助金を用い、林中のほ場整備 渋田見及び鶴山の遊休荒廃地をブドウ畑に整備する。
- ・ 財源：県補助金 1億 576万円
町地方債 1,870万円
町一般財源 84万円

○土地購入費 3,500万円

- ・ 三丁目の上町（わでまち）ホールをとりこわし、駐車場などに活用する。
- ・ 購入面積1,423㎡、補償費 681万円
- ・ 財源：町一般財源 3,500万円

○プレミアム事業 1,130万円

- ・ 町内商業振興、町民福祉の向上ため プレミア率20%の商品券を5,000組発行する。
- ・ 高齢者、子育て世帯向け 2,500組
一般家庭向け 2,500組
- ・ 財源：町一般財源 1,130万円

○コミュニティ助成事業 620万円

- ・ 広津自治会 交流用エアーテント購入
- ・ 半在家自治会 机、イスなど購入
- ・ 一丁目自主防災会 防災倉庫など購入
- ・ 財源：宝くじの社会貢献広報助成金

○ハーバルヘルスツーリズム事業 342万円

- ・ ハーブのケアトレーナー育成
- ・ 花とハーブの修景、薬効ハーブ推進
- ・ 財源：県「元気づくり支援金」

防災対策の推進を

4月から消防防災係が総務課に新設され、防災対策に取り組んでいます。取り組み状況と防災対策について総務課長に聞きました。回答の概要は下記のとおりです。

○避難所運営マニュアルなど各種防災対応マニュアルの作成に取り組んでいる。

でき次第、町ホームページで公表する。

○町内別の指定避難所（二次避難所）・避難地の見直し案は自主防災会議で検討し町ホームページで公表する。年度内に避難所運営協議会の立ち上げを検討する。

○防火水槽を含めた町の防火体制について点検を行い、必要な修繕を行う。

* そのほか、「町なかの商業振興対策・活性化対策」を聞きました。後日、池田民報でお知らせします。

6月議会の概要 農地改善事業などの一般会計補正予算を可決

6月12日から21日まで、6月町議会が開かれました。一般会計補正予算議案など議案7件、承認8件を審査し、全て可決しました。また、請願3件、陳情1件を審査し、全て採択し、国・県に意見書を上げました。

一般会計補正予算は歳入歳出に2億2,738万円を追加し、予算総額は50億9,538万円となりました。その目玉は左表のとおりです。また、太陽光発電施設の設地基準を定める「町土地利用調整基本計画の変更」議案、し尿汲み取り事業の維持のために、「手数料を100当たり74円を95円とする」議案を可決しました。一般質問は6人が行いました。

～ 私の一般質問 ～

高校生通学費助成制度の創設に向け検討を！ 教育課長 町の定例教育委員会で検討したい

薄井 県下15自治体で、高校在学保護者の負担軽減を目的に、高校生通学費助成事業を実施している。当町でも助成制度の創設に向け検討を。

教育課長 平成29年の当町の通学高校生総数は209名、通学定期券運賃の総額は年約1500万円を超える額である。

保護者への負担は大きいと考える。近隣の状況を参考に町の定例教育委員会で検討したい。

町の大型建築工事に、町内業者の受注機会の増大・下請け業者の生活を守る施策を！！

薄井 町内業者の受注機会の増大し、下請け業者の生活を守るため3月議会に続き、次の施策を問う。

①一括発注ではなく、町内業者が施工できる仕事（電気工事・外構工事など）に分けて分割発注を。

②下請け業者の生活などを守る施策として最低制限価格（落札価格÷予定価格）の引き上げを。

③一般競争入札の落札で総合評価落札方式（※）の導入を。

※入札価格点・その他評価点（企業の社会的貢献度など）の合算で最高点業者を落札者とする方式

企画政策課長

①分割発注にJ V（建設共同企業体）方式を採れば、町内業者の参加は可能である。今後、検討したい。

②最低制限価格を67%から70～90%に引き上げる要綱を定め、6月1日から実施している。

③総合評価落札方式は事務手続きが増えるが、同方式の利点を活かすため、来年度から対象工事をしぼり実施する。

” から梅雨に 雨降り続き カエル鳴く 命の恵み ありがたきかな”